

責任施工に自信

CF施工でコンペ

デコス・ブローイングピック



責任施工の命といえる技術の向上を目的に毎年実施している

古紙を再生したセル
ロースファイバー（C
F）断熱材を製造し、
責任施工で販売するデ
コス（山口県下関市、
安成信次社長）は、下
関市の同社工場で行な
うブローイングピック
を開催した。

施工技術の向上を目的に毎年行っているもので、代理店で組織する日本セルロースファイバー断熱施工協会（JCA、安成信次会長）の主催。昨年はデコスの関東工場を

会場に実施したため下関では2年ぶりの開催となった。西日本を中心に16社の代理店の施工技術者32人が参加した。シート張りのスピードや正確さ、吹き込みの技術を競った。

競技開始前に安成会長が「断熱材は鉱物系、石油系、自然素材系があるが、日本では9割はメーカーの製品を販売するだけで、責任施工は1割。これからは製品だけでなく施工後の性能が問われる。デコスは施工込みをうたい文句にしており、JCAの研修を通じて技術の向上を図っ

ている」と競技を始めた。たいきさつを説明した。

競技では、壁に見立てた3×8判のパネルに不織布シートを張るところから始め、シート張りの時間、ステープル留めの数やピック、CFを吹き込む際の吹き込みの密度やむらなどを採点して順位を決める。採点の担当者は一年々レベルが上がり、差を付けるために採点項目を増やしている」と競技会の成果を認めている。

当日の入賞者は次の各氏。

▽1位 由地悟（ニシムラ、川崎市）
▽2位 香川逸平（エムジシステム、香川県善通寺市）
▽3位 田原英樹（マイライフ・オオニワ、鹿児島県霧島市）。